

# 平衡機能検査装置

企業 / (株)モリタ製作所

研究所 / 船曳和雄 (京都大学医学部付属病院耳鼻咽喉科)

平衡機能検査の一手法である前庭動眼反射VOR( Vestibulo-Ocular Reflex )検査は、頭部に回転刺激を与えたとき、反射によって生ずる不随意的眼球運動を測定することで、前庭三半規管の機能を定量的に評価し診断するものであり、めまいの動的かつ定量的評価方法として古くから知られ、多くの報告、知見がある。しかしながら、このような検査は、大掛かりで高価な装置と煩雑な手間のために、日常的に臨床現場で実施することが困難であった。

本システムは、日常的に行われているめまい診療の中において、通常眼球運動を観察するのと変わらない手間と時間で、簡単にVOR検査を行うことを目的としている。頭部に与えた刺激と眼球運動はそれぞれ同時にコンピュータに取り込まれ解析される。特に本モデル化においては、蓋の開閉のみで明所と暗所を切り替えられる赤外線フレネル眼鏡を試作し、臨床評価を行った。視刺激を与えた時の眼球運動を記録することによって、末消性、中枢性めまいの識別診断に利用できる。

VOR検査の簡単化により、より多くの患者に対して質の高いめまい診療を提供でき、更なる臨床データの蓄積や臨床応用が見出されることも期待できる。装置の臨床評価はその後も継続して実施しているが、臨床的利用価値は高い。



VOR 測定風景